

【設計通りに装置が動かない？】

現場で進める簡易自動化・からくり設計に 役立つ機構設計のキホン

～からくり設計を【期待通りに動かす】ための機構・設計のポイントを学ぶ～

日 時 2026年1月20日(火)

10:00～17:00
(9:30 受付開始)

※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会 場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

講 師 安藤 正儀 氏
ソダック機械設計事務所 代表

受講料 46,200円(資料含む、消費税込)

受講効果

- 【1】 簡易自動化・からくり設計を実現する基本構造・機構が理解でき、これらの使いどころが掴めます。
- 【2】 動力伝達部・滑り部・支柱部など各構成要素の設計の要点が把握できます。
- 【3】 からくりを意図した通りに動作するための精度と加工性・組立性の検討方法が理解できます。
- 【4】 からくりから治具へ、自動化装置へと展開する設計最適化手法が学べます。

プログラム

1. 【からくり設計】で期待通りに【動かない要因】

- 1-1 そもそも機構の選択は何を基準に決めたのか
- 1-2 作った後で出てきた問題。
作る前に問題が把握できない原因は？
- 1-3 問題点はどこ？
- 1-4 検討時に見落とししたところ？

2. からくり設計の概要

- 2-1 からくり機構の種類
- 2-2 からくり機構でできること
- 2-3 からくり機構の「ネットや本では解説されないポイント」

3. からくり設計での機構設計のキホン

- 3-1 てこの原理は知っていて使う
- 3-2 動力伝達構造での設計はここに注意
- 3-3 すべる部分と摩擦する部分の発見で摩擦防止
- 3-4 からくりに使われる基本的な部分

4. 機構の構造を知り、からくりの選定力を養う

- 4-1 からくりは何が要求されるのか、機構設計に何が必要か
- 4-2 見落としがちな設計ポイントはどこか
- 4-3 構造は基本部分のさらに基本が大切

5. 構造設計の注意点を知って、からくり機構を使おう

- 5-1 支点部分の設計の注意点
- 5-2 形状を決める注意点
- 5-3 構造物の設計を決める注意点

6. 機構の設計はこうすれば生きてくる

- 6-1 からくりを【期待通りに動かす】ための知識
- 6-2 動く部分に必要なことは計算だけでは出てこない、
知らなければ出てこない
- 6-3 気が付かなければいけないところはどこか注目する(演習)
- 6-4 気が付かなくて起きたこと(演習)
- 6-5 優先順位と選択を考える
- 6-6 精度面、加工性、コストから構造を考える
- 6-7 設計ポイントを別の機構に応用する際の重要点

7. からくり設計を治具化、自動化へ応用を検討するためのポイント

- 7-1 からくり機構から治具へ、装置へ、移行するために
- 7-2 設計の正解はひとつではない
- 7-3 ひとりよがりではだめ～最適な機構設計が大事～構造
による差を考えよう
- 7-4 実践演習

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせて頂く場合がございます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

No.257119

